

第112回産業計測制御技術委員会 議事録(案)

日時：2013年10月7日(火曜日)15:30～17:00

会場：三鷹市公会堂 会議室

三鷹市野崎1-1-1 さんさん館 3階

【出席者】

○ 産業計測制御技術委員会

委員長：柴田昌明(成蹊大)

一号委員：小坪成一(千葉大)、高橋一悟(香川大)、満倉靖恵(慶應大)、金子貴之(富士電機)、
田中雅人(アズビル)、笹岡英毅(アズビル)、染谷博司(東海大)、
中野和司(電通大)、松井哲郎(富士電機)、石井千春(法政大)、小田尚樹(千歳科技大)

二号委員：清水創太(早稲田大)、中荃隆(九工大)、石亀篤司(大阪府大)、宮内秀和(産総研)

幹事：下野誠通(横国大)、五十嵐洋(東京電機大)、山口崇(明電舎)

【配布資料】

112-0 前回議事録(案)

112-1 IIC名簿(2013年10月1日版)

112-2 2013年度技術委員会における重点取り組み

112-3 来年度IIC活動計画(1次案)

112-4-1-1 高度センサ応用による人・環境親和システムに関する協同研究委員会 活動報告

112-4-1-2 先端制御技術とロボット技術の融合と産業応用に関する協同研究委員会 活動報告

112-4-1-3 産業応用のためのシステム最適化とベンチマーク問題調査専門委員会 活動報告

112-4-1-4 高度センサ応用による環境・機械・生体の計測制御技術創生に関する共同研究委員会 活動報告

112-4-1-5 先端制御技術の産業応用に関する協同研究委員会 活動報告

112-4-2 先端制御技術とロボット技術の融合と産業応用に関する協同研究委員会 活動報告

112-4-3 産業応用のためのシステム最適化とベンチマーク問題調査専門委員会 活動報告

112-5-1 平成25年度 産業計測技術委員会 活動報告

112-5-2 平成25年度 D部門 技術委員会・専門委員会 開催状況

112-6 産業応用フォーラム報告書「モーションコントロールの新しい基盤技術」平成25年7月23日実施

【議事概要】

0. 前回IIC 議事録(案)確認(下野幹事) 資料:IIC-112-0

下野幹事より、資料IIC-112-0に沿って前回議事録(案)の読み上げが行われ、原案の通り承認した。

1. 2013年度IIC委員会における役割担当 資料:IIC-112-1

本委員会より新規に2号委員に加わる中荃隆委員、清水創太委員、および幹事補佐の山口崇幹事補佐の紹介が行われた。(名簿訂正:新ISAM委員会の期間:2013年8月～2015年9月(2年間))

2. 2013年度技術委員会における重点取り組みについて(柴田委員長) 資料:IIC-112-2

資料IIC-112-2に沿って、2013年度重点取り組みに関する以下の委員長案が提示された。(1)企業の技報調査に基づいたD論文誌への投稿推薦する、(2)D英文論文誌の投稿を推進するため、MEC(技)と英文を含むワ

ークショップ開催を視野に検討する, (3) 協同研究会による技術報告の発行を原則とする, (4) 技術報告をテキストとする産業応用フォーラムの促進を目指す。技術報告書については, 下野幹事より HP を通じた技術報告書をアピールする案が提案され, 了承された。

(1) 案について, 以下のコメントがあった。(i) 企業への論文投稿推薦については, 部門からオーサライズされたメールとする必要がある。(ii) フォーマット変更の手間が足かせとなる可能性がある。

本提案は, 10月9日に報告予定である。意見等については柴田委員長へメール連絡することとした。

3. 来年度 IIC 活動計画 (下野幹事) 資料: IIC-112-3

資料 IIC-112-3 に沿って, 来年度の活動計画について, 下野幹事より説明があった。来年 12 月頃を目処に実施を予定していた産業応用フォーラムについて議論を行った結果, 時期をずらす必要があるとの見解で一致した(本技術委員会は 4 委員会で回している都合上, 開催頻度を 1.5 年に一回程度とし, 基本的に解散時にフォーラムを行う方針であることを確認した)。

4. 委員会活動報告(2号委員)

4.1 高度センサ応用による人・環境親和システムに関する協同研究委員会 (資料: IIC-112-4-1)

第 10 回委員会(最終回)の実施, Special Session, 東京支部連合研究会について説明があった。また, 現在技術報告をとりまとめているとの報告があった。

4.2 先端制御技術とロボット技術の融合と産業応用に関する協同研究委員会 (後継: 先端制御技術の産業応用に関する協同研究委員会) (資料: IIC-112-4-2, IIC-112-4-5)

大西委員代理で中茎委員より, 活動について報告があった。また, D 部門大会でのシンポジウムを成果報告と位置づけ, これを持って旧協同委員会(大西委員)を解散とし, 後継委員会「先端制御技術の産業応用に関する協同研究委員会」(中茎委員)(資料: IIC-112-4-5) として, 第 56 回自動制御連合講演会(11月17日・新潟大)での OS「高機能 PID」を提案済みであり, そこで第 1 回委員会を実施予定である。

4.3 産業応用のためのシステム最適化とベンチマーク問題調査専門委員会(資料: IIC-113-4-3)

資料 IIC-112-4-3 に沿って, 下野幹事が代読した。第 2 回, 第 3 回委員会について報告があった。今後の予定として, 第 4 回委員会を 10 月に, また平成 26 電気学会全国大会シンポジウムを提案する予定である。

4.4 高度センサ応用による環境・機械・生体の計測制御創生に関する協同研究委員会(協)(資料 IIC-112-4-4)

9 月に第 1 回委員会を開催されたとの報告があった。今後, 第 2 回 委員会を 10 月 25 日に早稲田大学での開催を予定しており, また AMC2014 で SS 提案中である旨報告があった。

5. IIC 活動報告書, 活動状況

資料 IIC-112-5-1, 同 -2 について, 内容を確認した。修正点については柴田委員長へ連絡することとした。

6. 産業応用フォーラム報告

資料 IIC112-6 に沿って, 金子委員より産業応用フォーラム「モーションコントロールの新しい基盤技術」の報告が行われた。今後の産業応用フォーラムにおいて, 今回のノウハウを共有していくことを確認した。

7. その他

診断・監視委員会の立ち上げについて準備中である旨, 宮内委員より説明があった。